

哲學研究

第四十七卷 第四冊

第五百四十六號

昭和五十七年十一月二十日發行

古代キリスト教における

「好奇心」の問題……

水垣

晁

論理における原理的なるもの……

大出

晁

——アリストテレスの所論をめぐって——

力学における決定論と

意識の自由について……

品川

嘉也

——情報構造としての意識——

デカルトにおける

永遠真理創造説について……

平松

希伊子

新刊紹介

中久郎……
『デュルケームの社会学論』

中島

道男

彙報

京都大學文學部内

京都哲學會

が取り上げた六章、七章以降は、われわれの住むこの宇宙ではなく、想像上のまったく新しい宇宙を舞台にした物語である。ここから『Le Monde』も『規則論』と同様の仮説性を免れてはいないのでないか、という疑問も生じよう。この場で十分な議論を尽くすことはできないが、私は、この Table という仕かけは、聖書やアリステレス等の權威との無用の摩擦を回避するための一種の擬態あるいは仮装であると考える。

(9) 例えば、『天文対話』(岩波文庫)上巻五三ページ以下参照。

(10) 『哲学原理』の用語法では、永遠真理という語は、専ら共通概念あるいは公理を指している。(cf. P. P. 1-19)

(11) 同じように「永遠真理」とみなしうるとはいえ、論理的数学的真理と運動法則とは、自然学において果たすべき役割が異なっていることは言うまでもない。運動法則は、確実な基礎を有する揺るぎない真理ではあるが、余りに一般的であって、それだけでは現実の世界に生起する個々の運動を説明するには至らない。そこで一般的原理としての運動法則と、現実の運動との間に連絡をつけることが、自然学の大きな課題となるが、その任を担うのが種々の論理的数学的真理なのである。その際、原理から具体的な自然へと向かう道程には様々な可能性があり、その中でどの説明を優先させるべきかについては、実験や観察を俟つほかはない。(cf. D.M.6, VI. 64~65; P. P. 3-4)

(12) 代数学の領域におけるデカルトの最大の貢献、量の同次性の確立は、二次・三次以上の数をも直線として表わすことによつて可能となった。(cf. D.M. 2, VI.19~20) また『幾何学』は加減乗除や平方根の抽出の作図から始まる。(cf. VI. 369~371)

(筆者 ひらまつ・キーン) 京都大学文学部「哲学」(研修員)

デカルトにおける永遠真理創造説について

前 号 目 次

睡眠と帰属の理論 (承前・完)	山内得立
共同体論における共同性の問題	中 久 郎
「分割法」考案	小池澄夫
——プラトン後期対話篇への視点——	
主観と自発性	酒 井 潔
——ライブニッツ形而上学の根本問題——	
書評 『川原栄隆 『ハイデッガーの思惟』』	竹 内 亨

次 号 論 文 豫 告

トマスにおけるレスとエッセンシアに ついて	山 田 晶
絵画空間について (承前・完)	新田博衛
——アルベルティとヒルデブランド——	
ルターとオッカム主義の伝統	金子晴勇
物自体と『純粹理性批判』の方法	福 谷 茂
【調査】エルヴィン・ヘルツの遺産	佐々木丞平

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌四冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京 都 大 學 文 學 部 内

昭和五十七年十一月十五日 印刷
昭和五十七年十一月二十日 發行

編輯兼 京都大學文學部内
發行人 京 都 哲 學 會
編輯代表 酒 井 修
編輯担当 伊 藤 邦 武

賣捌所 株式會社 創 文 社

久保井理津男

東京千代田區一番町一七番地
振替口座 東京二一九二四七二
電話東京二六三二七二〇（代表）
印刷所 曉印刷株式會社
東京都文京區関口一―二四―八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、送料六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十七年十一月二十五日發行

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVII

November

1982

No. 4

Articles

- The Problem of "Curiosity" in Ancient Christian Thought*
.....Wataru Mizugaki
- On Principles of Logic*Akira Oide
- Determinism of Mechanics vs. Freedom of Consciousness*
— *Consciousness as Informational Structure* —
.....Yoshiya Shinagawa
- Sur la théorie de la création des vérités éternelles*
chez DescartesKiiko Hiramatsu

Book Review

- Hisao Naka: Durkheim No Shakai Riron*
(*Social Theory of Durkheim*)
.....Michio Nakajima

Notes

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University
Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-4 特價 1,200圓